

2008 JAPAN ASSOCIATION OF MEDICAL AND CARE FACILITIES

第1回 慢性期医療認定講座 開催のご案内

日本慢性期医療協会（日本療養病床協会）では、この度、第1回慢性期医療認定講座を開催する運びとなりました。

本認定講座では、慢性期医療に携わる医師・看護師の皆様へ基本となる知識や技術を履修していただき、さらに、患者のみならず、ご家族まで含めた全人的医療・ケアへのチームアプローチを習熟できるようなプログラムと致しました。全6日間24単位を履修された方には、「慢性期医療認定医」「慢性期医療認定看護師」の認定証が授与されます。

医療技術がますます高度化する中、機能分化により急性期病院の在院日数の短縮にも拍車がかげられ、治療の早い段階で慢性期医療の現場がその治療やリハビリを引き継ぐ場合が増えてまいりました。

急性期医療から来られる患者の病態は多くの合併症を持ち、身体機能が著しく低下していることも少なくありません。

これらの患者には、急性期治療そのままの医療、ケアを提供するのではなく、慢性期医療のノウハウをもって対応することが肝要です。

本認定講座は、これまで培われてきたノウハウに加えて、各分野からの第一人者を迎え、慢性期医療の基本を集大成した内容の濃い講義となっております。

当協会が平成4年に設立以来この16年の間には、世界で例を見ない超高齢社会への突入という社会構造の変化や、療養病床の創設、介護保険制度の施行など、医療をとりまく環境は大きく変わってまいりました。

このような環境の中でこそ、療養病床が地域医療拠点として各医療機関、施設、在宅等との連携をすすめ、多様なサービスを提供できる機能が求められております。つまり、慢性期医療においては、急性期を引き継ぐ高度慢性期医療、リハビリテーション、維持期医療、在宅医療へのサポート、ターミナルなど、ますます幅広い知識と技術を身につけることが必要となりました。

当協会としてもその一翼を担うべく、本年7月2日に団体名を日本療養病床協会から日本慢性期医療協会に改称し、今後さらに求められるであろう慢性期医療の必要性和重要性の責務に応えていく決意を新たにいたしました。

本認定講座を意義あるものとし、各病院、地域で慢性期医療認定医・認定看護師の皆様が活躍され、社会のニーズに応えられるより良い慢性期医療を展開されるよう望みます。皆様の熱意あるご参加をお待ちしております。



日本慢性期医療協会
会長 武久 洋三

JAPAN ASSOCIATION OF MED

第1回慢性期医療認定講座 開催要項

慢性期医療認定証 授与について	全6日24単位を履修された方には、日本慢性期医療協会より「慢性期医療認定医」「慢性期医療認定看護師」の認定証を授与いたします。
PART1	平成20年 9月27日(土) 10:30 ~ 17:20 (4単位) 平成20年 9月28日(日) 9:00 ~ 15:50 (4単位)
PART2	平成20年 10月25日(土) 10:30 ~ 17:20 (4単位) 平成20年 10月26日(日) 9:00 ~ 15:50 (4単位)
PART3	平成20年 11月29日(土) 10:30 ~ 17:20 (4単位) 平成20年 11月30日(日) 9:00 ~ 15:50 (4単位)
場所	平成リハビリテーション専門学校 兵庫県西宮市津門西口町2-26 TEL.0798-38-1288 http://www.heisei-reha.jp/
定員	医師30名・看護師70名 計100名
参加費	医 師 24万円(日本慢性期医療協会会員病院に勤務する者は12万円) 看護師 16万円(日本慢性期医療協会会員病院に勤務する者は8万円) ※参加費にはご昼食を含みます。
参加申込方法	申込用紙に必要事項をご記入の上、FAXにてお申し込み下さい。 FAX:03-3355-3122(日本慢性期医療協会事務局)
申込期日	平成20年8月11日(月) ※ただし、定員に達した時点で期日にかかわらず受付を終了いたします。受付終了の場合は、お申し込み後5日以内にご連絡いたします。
参加者へのご案内	連絡担当者様宛に、受講票と参加費請求書をお送りいたします。
キャンセルについて	9月6日(金)以降のキャンセルについては参加費の返金は致しかねますので、ご注意ください。
受講上の注意	*各日とも受講票をお持ち下さい。 *受付にて到着確認をいたします。 *各日の講義終了時には、受講票に確認印を押印いたします。 *認定証の授与は、全日程に確認印のある受講票と引き換えとなります。 *各開講日ごとに理由の如何によらず20分以上の遅刻または早退をされた場合は、認定証の発行はいたしかねますので、ご了承下さい。
その他	交通機関・ご宿泊の手配は、各自にてお願いいたします。
【研修企画】	日本慢性期医療協会 慢性期医療認定委員会 委員長 富家隆樹 副委員長 田中志子
【主 催】	日本慢性期医療協会(日本療養病床協会) 〒160-0022 東京都新宿区新宿1-1-7 コスモ新宿御苑ビル9階 TEL.03-3355-3120 FAX.03-3355-3122 E-mail:info@ryouyo.jp URL:http://ryouyo.jp/

CAL AND CARE FACILITIES

講義概要

PART1

9月27日(土)	慢性期医療概論	天本 宏・新天本病院理事長
	医療保険制度と介護保険制度	安藤高朗・永生病院理事長
	慢性期医療を中心とした地域医療連携	池端幸彦・池端病院理事長
	慢性期医療における医療事故対策	飯田達能・永生病院院長
9月28日(日)	慢性期医療における栄養療法	武久洋三・博愛記念病院理事長
	慢性期医療における褥瘡の予防と治療	鳥谷部俊一・相澤病院褥瘡治療センター統括医長
	慢性期医療における外科的処置と管理1	福島亮治・帝京大学医学部教授
	慢性期医療における外科的処置と管理2	福島亮治・帝京大学医学部教授

PART2

10月25日(土)	慢性期医療におけるリハビリテーション	石川 誠・初台リハビリテーション病院理事長
	慢性期医療における高齢者医学概論	横野浩一・神戸大学大学院医学系研究科老年内科学教授
	慢性期医療における終末期医療と看護	中川 翼・定山溪病院院長
	慢性期医療における薬物療法	山上 久・鳴門山上病院理事長
10月26日(土)	慢性期医療における服薬管理	賀勢泰子・鳴門山上病院診療協力部部長
	慢性期医療における身体抑制廃止の理念と方法	吉岡 充・上川病院理事長
	慢性期医療における脳血管疾患管理	木下牧子・初台リハビリテーション病院院長

PART3

11月29日(土)	慢性期医療における感染制御	岩田健太郎・神戸大学医学部教授
	慢性期医療における感染症治療	岩田健太郎・神戸大学医学部教授
	慢性期医療における感染症の看護と管理	岩田健太郎・神戸大学医学部教授
	慢性期医療における診療のポイント	武久洋三・博愛記念病院理事長
	慢性期医療における看護のポイント	武久洋三・博愛記念病院理事長
	慢性期医療における口腔ケアと摂食嚥下	糸田昌隆・わかくさ亀間リハビリテーション病院診療部長
	慢性期医療における検査と診療	武久洋三・博愛記念病院理事長
	慢性期医療における輸液療法	武久洋三・博愛記念病院理事長
11月30日(日)	慢性期医療における排泄ケア	中尾郁子・光風園病院看護部長
	慢性期医療におけるケアプランと看護計画	梅崎亜希子・光風園病院回復期リハ棟師長
	慢性期医療における認知症の診療と看護	高野喜久雄・総泉病院名誉院長
	急性期術後・治療後の回復期の医療管理	澤田勝寛・新須磨病院院長

※講義によって医師対象、看護師対象となります。

※講義時間の詳細は当協会ホームページでご確認下さい。<http://ryouyo.jp/>